

問 新・道の駅 町活性化へのビジョンは

答 山田町ならではの特色を活かす



とよまねまこと
豊間根信議員
(政和会)

問 工事の音が響きはじめ、ますます期待が高まっている。ハード面での整備に伴いどのような位置付けと展望をもって、これからの町のにぎわい創出に取り組んで行くのか具体的な施策について問う。

佐藤町長 新・道の駅は、町の特産品販売による農林漁業者の所得向上を目指すことはもとより、町への玄関口として町内各所に周遊・滞在してもらうことで、町内経済への波及効果をもたらす施設となるよう整備する。現・道の駅もしっかり支えることにより相乗

効果を生み出し、両駅がそれぞれ特色を生かす多くの人が訪れていただき、町のにぎわいを創出できるよう取り組んでいく。

問 町中心部をはじめ周辺部の各事業者も厳しい状況にある。どのような考え方をもち取り組んで行くのか。

川守田政策企画課長 町内の商店・事業者と

どのような関わりを持つて実施していくか毎月打ち合わせを行いながら、方向性を検討している。広く町内の生産者・事業者を受け入れ、多くの商品を納入してもらおうこと話をしていく。指定管理者による一局集中にならない様な形で運営していく。



建設が進む 新・道の駅

問

企業誘致の
今後の展開は

答

積極的に情報収集を
行っていく

問 山田北インター整備をはじめとして町のさらなる発展の礎として、企業誘致や既存企業への支援策等、今日まで様々な施策を実施されてきたが、その効果の現状と課題、今後の施策展開について問う。

町長 現在、設備導入に伴う借入金に対する利子補給や固定資産税の減免のほか、中小工業者に対して安定経営支援のため、運転資金や設備資金の融資を

受けた際の利子補給などを実施している。課題として新型コロナウイルス感染症拡大の影響により企業誘致に向けた活動が困難な状況にあるが、機会を捉え積極的に情報収集等を行っていく。

問 山田町だけのインテール化ではない、近隣の市町村と連携し企業誘致施策をすべきでは。

町長 それだけの経済的影響を持ちうる事業と思っている。